

元知名町長 日吉得藏氏

正六位 受章

4期16年にわたり町長として、豊かな社会づくりと町勢の発展に多大な貢献をされました日吉得藏氏（故人）が、このたび正六位を受章され、2月16日、町長室において、ご家族に対し叙位の伝達が行われました。



日吉氏は、公営住宅の整備や小学校校舎の新築など、町民の生活環境の向上や学校教育環境の充実に貢献したほか、山田ダムの整備着工に尽力するなど、産業経済の振興に大きく貢献されました。また、知名町商工会会長や知名町観光協会会長などの要職を歴任されたほか、第1回観光祭（現在の「ふるさと夏祭り」）の主催や昇竜洞の整備促進に尽力され、町の地域振興、観光振興にも多大な貢献をされました。

沖永良部高等学校沖洲会ガイダンス

今年で3回目を迎える「沖永良部高等学校沖洲会ガイダンス」が、2月19日、同校体育館で行われました。これは、全国各地の沖洲会（主に沖永良部出身者で結成されている郷土会）の組織や活動内容を周知することにより、若い会員を確保することを目的として、高校3年生を対象に行われているものです。



今年 は、田皆出身で鹿児島市在住の松元重樹さんと、和泊町喜美留出身で大阪府在住の喜井泰貴さんを講師に迎え、それぞれが所属している沖洲会の活動等の紹介や想いを次のように話されました。

普通科の山本悠愛さん（田皆）と和田清健さん（和泊町和）はそれぞれ、「卒業後はえ

らぶから離れるけど、沖洲会に入会すれば島の人たちと触れ合うことができるのでいいなと思った。」「自分たちが積極的に参加して、沖永良部を盛り上げられるようにしたい。」と沖洲会に対する感想を話しました。



喜井泰貴さん

「今の沖洲会は、若い力が弱い。」

若い力が弱いと新しい発想が生まれにくい。若い人世代ならではの新しい発想を持ち寄りそれを形にしていくことで、次の世代にも繋がり、沖洲会に良い流れが生まれる。」



松元重樹さん

「最初沖洲会は沖洲の存在を知らなかったが、島の同級生がきっかけで入会しました。人とつながることは財産だと思いますの

で、卒業後はぜひ、各地沖洲会へ入ってください。」

城村秀治さん

CDと教則本を製作



上平川出身で尼崎在住の唄者・城村秀治さんの『沖永良部島民謡集』（教則本）と『沖永良部民謡選』（CD）が12月に製作されました。これは、今年米寿を迎える城村さんのために、自身の民謡教室のお弟子さんらがお祝いにと制作したものです。現在も城村さんは、沖永良部民謡の継承・普及や生徒の育成に尽力されています。



↑2月に行われた米寿記念演奏会→製作された教則本とCD